

会議結果のお知らせ

令和5年度第3回宮古市環境審議会を、次のとおり開催しました。

令和6年1月22日

宮古市環境審議会

1 開催日時

令和6年1月12日（金）午後3時00分～4時50分

2 開催場所

市民交流センター2階多目的ホール

3 議題

(1) 地球温暖化対策実行計画について

4 会議の概要

会長が議長となり議事を行い、事務局から地球温暖化対策実行計画素案を説明した。

詳細は、別紙会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市エネルギー・環境部 環境課 環境係

電話62-2111（内線1721）

令和5年度第3回宮古市環境審議会会議録

- 1 開催日時 令和6年1月12日（金）午後3時00分～午後4時50分
 2 開催場所 市民交流センター2階多目的ホール
 3 出席者
 (1) 委員
 菅原 省司、関川 實、齋藤 敏通、武内 寛、水木 高志、竹谷八千代、
 盛合 敏子、大棒 レオ子、西澤 勝美、寶 由夫、野場 和彦、懸田 節
 (2) 事務局
 三上 巧 エネルギー・環境部長、久保田 英明 環境課長、
 小笠原 雅明 脱炭素推進係長、上田 哲 環境係長、乙戸 美沙子 環境係主任

4 審議会概要

- (1) 開 会
 (2) 会長挨拶（菅原会長）
 (3) 議 事

地球温暖化対策実行計画について、事務局が資料により説明した。
 その後、質疑応答及び意見等を受ける形式で進行した。要旨は次のとおり。

質問・意見等	回 答
<p>【委員】 国際的動向に、近年の「地球沸騰化時代」など、計画を見る側が危機感を持つような表現も入れて欲しい。</p>	<p>【事務局】 近年の動向も踏まえて、危機的状況である旨の表現を追記します。</p>
<p>【委員】 CO₂排出状況で、コロナによる企業活動の減少も排出量が削減された要因と考えることから、記載してはどうか。</p>	<p>【事務局】 令和2年度以降はコロナの影響もあると考えます。しかし、平成25年度からの期間全体として影響を及ぼすものではないと考えています。</p>
<p>【委員】 CO₂排出状況は、全体的に減少しているが、産業部門で令和2年度に増加している。これは、製造業等が増加したなどの原因があるのか。</p>	<p>【事務局】 環境省で公表している推計方法で算出したもので、岩手県全体の出荷額等から按分した数値です。そのため、原因の特定は困難です。</p>
<p>【委員】 CO₂排出量BAU推計で、現行以上の対策を講じない場合とあるが、どういうことか。</p>	<p>【事務局】 「現行以上の」とは、現状の対策を強化しない場合の推計値であり、各種要因から「自然減」と推測されています。</p>

【委員】

森林吸収量が、2030年から2050年で増加しているが、どうしてか。

【委員】

再生可能エネルギーの風力発電に係るブレードについて、バードストライク等野生生物に与える影響はある。ブレード無しの風力発電も開発されていると言った新しいものも宮古市として検討したほうが良いのではないか。

【委員】

「環境に配慮した行動の推進」で、具体的には、広報等で伝えるのか。想定しているものがあるか。

【委員】

カーシェアリングの活用について、世代毎の車両保有率を把握し、特に高齢者の実態や意向も確認した方がよいのではないか。

【委員】

自家用車が便利であるため、公共交通を使うことが少ないと感じる。職員が率先して通勤に利用するべきと考える。

【事務局】

計画では吸収量対策についても記載します。森林機能は直ぐに回復しませんが、取組の実施により、徐々に機能が回復し、吸収量が増えていくと見込んでいます。

【事務局】

ご意見のとおり、自然への影響も考慮しつつ、新しい技術も積極的に取り入れて、再エネ導入を進めていきたいと考えています。

【事務局】

今年度の7・10月に脱炭素フェスタとしてイベントを開催し、その中で市民向けセミナーも実施したところです。

また、学校等への出前授業など広報等のほか様々な手段で普及啓発に努めていきます。

【事務局】

世代毎の車所有率は把握していません。居住地やライフスタイルにより、ニーズは異なると考えています。

CO₂削減については、カーシェアや電化及び公共交通推進など、様々な手法で取り組んでいきたいと考えています。

【事務局】

地理的条件や家庭の都合等、様々な条件があり、公共交通で通勤している職員数は多くはありません。一方、エコ通勤デー等の取組も実施しており、無理のない範囲での日常利用に努めています。

市職員だけでなく、市民・事業者も含め市全体での取組が必要であり、計画書にもみんなで取り組む旨を記載しています。

<p>【委員】 環境学習について、依頼を受けてから対応するのではなく、カリキュラムに盛り込むよう働きかけるべきと考える。</p> <p>【委員】 野生生物季節の変化については、市の調査内容を踏まえたものなのか。</p> <p>【委員】 最近では雪が少ない状況で、雪が少ないことで越冬できない昆虫もいる。気候変動が大きいと水生生物にも影響がある。</p> <p>【委員】 地方公共団体の事務事業に係る計画は環境部署と他部署の間で温度差がある。職員意識の向上等により、その温度差を埋めていけるかが課題である。</p> <p>【委員】 市役所としての取組も、環境課だけでなく、他の部署も含めて取り組んだ方が一ヶ所のウエイトが軽くなるとともに、全体で取り組むことで、効果が高まるのではないかと。</p> <p>【委員】 市役所として自らを律する取り組みは大変素晴らしいので、その取り組みを、家庭など市全体に広げてもらいたい。</p>	<p>【事務局】 現在は、学校から依頼を受けて実施していますが、市内小中学校の校長会議の場での周知やPRについても検討します。</p> <p>【事務局】 気候変動による一般的な影響として記載したものです。 (→意見)</p> <p>【事務局】 市役所の取組として、環境省のLAPSSシステムを導入し、全体の見える化を図るなど、全庁的に取り組んでいます。</p> <p>【事務局】 先ほどの全庁的な取組のほか、計画改訂についても全庁的に意見照会をしました。また、市長を本部長とする本部会議で方針等を各部長で協議し、各課への周知を行うなど、全庁的に取り組んでいます。 (→意見)</p>
--	--

(4) その他

各委員から意見があった。要旨は次のとおり。

意 見	回 答
<p>【委員】 環境教育に関しては、学校長の考え方で変わる。校長会等の機会を捉え、呼びかけて欲しい。</p>	

<p>職員が率先して公共交通を利用することも大事だが、働き方を改善しつつ公共交通の利用促進に繋がるよう取り組むことも必要である。</p> <p>【委員】 環境問題や地球環境の問題は、小さいころからの教育が大切なので、取り組みを進めて欲しい。</p> <p>【委員】 県内でも宮古市は取り組みが進んでいる。今回の審議会で出された意見も踏まえて、良い取り組みを進めて欲しい。</p>	
---	--

(5) 閉 会